

寄附金資金運用報告書(令和3年度)

(単位:千円)

寄附金種類	基本ポートフォリオ区分	実践ポートフォリオ投資対象資産(戦略)	基本ポートフォリオ保有割合	A元本投資額	投資来評価損益			直近四半期(1-3月期)運用実績				今期(2021.4-2022.3月期)運用実績				
					B簿価額(割合)(%)	C時価額(割合)(%)	D評価損益(C-B)	h.総合収益(運用コストを含む)(e+f+g)			H総合収益(運用コストを含む)(E+F+G)			修正総合収益率		
								e.利息配当収益	f.売却益	g.評価損益増減	E利息配当収益	F売却益	G評価損益増減			
東大基金	円ベース債券	先進国債券	60%	3,300,000	3,295,221 29.8%	3,077,630 23.9%	-217,592	0	0	-203,048	-203,048	0	0	-193,694	-193,694	-5.91%
		クレジット(債券マルチ)		3,300,000	3,368,424 30.5%	3,440,574 26.7%	72,150	16,668	0	-183,678	-167,010	66,768	0	-172,194	-105,426	-2.97%
	グローバル株式	グローバル株式(内外上場株式)	20%	2,200,000	2,181,794 19.8%	3,513,861 27.3%	1,332,067	36,851	0	-20,260	16,591	36,851	0	458,367	495,218	16.20%
	オルタナティブ	プライベート・エクイティ	20%	1,100,041	1,100,005 10.0%	1,705,715 13.3%	605,709	0	0	11,454	11,454	0	0	288,084	288,084	20.32%
		不動産		1,094,911	1,094,983 9.9%	1,133,722 8.8%	38,739	0	0	-7	-7	43,773	0	3,313	47,086	4.17%
小計			100%	10,994,952	11,040,428 100.0%	12,871,501 100.0%	1,831,073	53,519	0	-395,540	-342,021	147,391	0	383,876	531,267	4.27%
目的指定寄附金	満期保有目的債券		-	13,300,000	13,300,852	13,670,710	369,858	34,187	-	-	34,187	154,876	0	-	154,876	1.16%
	債券パッシブファンド		-	14,700,000	15,142,797	14,026,022	-1,116,775	0	0	-733,492	-733,492	262,570	0	-922,128	-659,557	-4.49%
	単独運用金銭信託		-	800,000	844,306	853,823	9,517	2,050	-	-1,630	420	5,300	-	-5,060	240	0.03%
	定期預金 ¹⁾		-	0	0	0	0	0	-	-	0	719	-	-	719	0.00%
	小計		-	28,800,000	29,287,955	28,550,556	-737,399	36,238	0	-735,122	-698,884	423,465	0	-927,188	-503,722	-1.72%
合計				39,794,952	40,328,383	41,422,057	1,093,674	89,756	0	-1,130,662	-1,040,905	570,857	0	-543,312	27,545	0.07%

1)2021年7月14日運用終了

【概況コメント】
 今四半期(1月~3月)、株式市場は米国の金融政策早期正常化観測、ロシアのウクライナ侵攻などを受け1~2月は下落したものの、3月は原油価格の高騰一服や米国金融政策の不透明感緩和から過度な警戒感が後退、さらに国内では円安進展も追い風となり反発した。
 債券市場では、インフレ圧力の高まりから米FRBによる金融政策引き締めの前倒し観測が強まったこと、さらに欧州でも金融政策正常化に前向きな姿勢が示されたことから1~2月は主要先進国で金利が上昇、3月も米英での利上げ実施と資源価格高騰などから金利上昇基調が続いた。
 為替市場では、ウクライナ情勢の緊迫化からリスク懸念が高まると一時円高に推移したものの、日米金利差拡大が意識されると円の売りが加速、円安に推移した。
 ・国内株式は-1.2%の下落、外国株式は0.2%の上昇
 ・国内債券は-1.5%と下落
 ・外国債券ヘッジなしでは円安進展から国債型で-1.3%、総合型で-1.0%とマイナス幅を抑えたものの、ヘッジありでは国債型で-5.6%、総合型で-5.7%の下落

* 利息配当収益 = 利息・配当金収入 + 未収収益増減

* 未収収益増減 = 当期末未収収益 - 前期末未収収益

* 評価損益増減 = 当期末評価損益 - 前期末評価損益

* 修正総合収益率 = 今期収益額 / 元本平均残高